

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	市立図書館耐震化及び施設改修事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課 図書館	
総合計画体系			根拠法令 計画など	なし	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成 ▼ 29 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまちなると			終期
(小項目)		図書館			
施策	2	市民参加の図書館運営の推進			
基本事業	3	図書館資料及び施設・設備の整備・充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市立図書館						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市立図書館の耐震化を実施し、市民の教養・調査・研究等の活動の拠点である図書館の整備を図る。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	耐震診断の結果、耐震性能を満たしていないと診断された市立図書館について耐震化を図るとともに、来館者用エレベーターの設置やトイレのリニューアルなど機能の充実と施設の多機能化を図るために改修設計を進める。また、利便性向上のため空調機器を更新する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		耐震化事業進捗状況	0	50	100			%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	・平成25年度に実施された利用者アンケートの結果を元に設計を進めた。 ・特に図書館運営について協働して取り組んでいるNPO法人については、現場の意見として何らか意見を聴取するなどし、利用者が利用しやすい図書館のリニューアルとすべく事業を進めた。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	耐震化改修に向け進めた工事・委託数	0	1	1		件
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	耐震化事業進捗状況		50	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況			計画どおり	

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	1,636	0	8,800	0	11,264	21,700
		補正予算額	△ 351	0	△ 1,500	0	△ 537	△ 2,388
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	1,285	0	7,300	0	10,727	19,312
		決算額	1,271	0	7,300	0	6,701	15,272
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費	
	0.5	0.0	3,617	18,889				

【事務事業名：市立図書館耐震化及び施設改修事業】

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費		15,272	309,300		
	うち一般財源		6,701	8,279		
	人件費		3,617	12,218		
	総事業費		18,889	321,518		

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		耐震改修を進め、利用者の利便性向上など施設のリニューアルに向けた設計を進めた。
	効率性	B:概ね効率的だった		工事内容等について事前に関係者との協議を行うなど、効率的に事業が進められるよう努めた。
②成果に対する評価	指標名	耐震化事業進捗状況		来館者用エレベーターの設置や多目的使用ができる会議室の整備、トイレのリニューアル、照明の改修など、これまで市民・利用者からの施設の要望が多かったものについて概ね設計に盛り込むことができた。
	目標	50	%	
	実績	50	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		関係者との協議を進めながら、耐震化を施設のリニューアルのための設計を進めることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①図書館の耐震改修工事を円滑に実施する。 ②耐震改修中は図書館を閉館することとなるため、市民へのサービス低下が懸念されるため、サービス低下対策を講じる必要がある。 ③リニューアル後の図書館の業務を円滑に再開するとともに、サービスの向上を図る必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	耐震改修工事を進めるとともに、利用者へのサービス低下に対応するため仮設図書館を開館する。			
	H31年度	リニューアルした図書館を開館し、より市民が利用しやすい図書館運営を進める。			